

に込めて、昭和23年に戦後再発足するまで乗り切ってこられたに違いない。これこそ野村さんの言われる、「一時的には花はしおれても根っこを強く育てる事」なのだと得心しました。

そして私は年頭所感で「本年は干支の庚子かのねの年にちなんで、新しい成長、新しい芽生えに向かつていくべき歳を迎えた。関西吟詩86年の歴史の重みをしっかりと受け止め、良き伝統は大切に継ぎながらも、進化のために必要な変化には今まで以上に勇気をもつて挑戦し、次の芽吹きを求めて新たな糸を紡いでいく決意であります」と自ら披瀝したことを思い出し、チコちゃんに「ボーつと生きてんじゃねーよ!」と叱られたような気分になりました。

『マスクの下は笑顔で!』

改めて思います。「今はガマンしながら根を強くするいい機会」です、

時節は丁度秋。今年前半は誠に不本意な状況が続きましたが、吟詩日本特別号でお約束した通り、これからは出来る限りの感染防止対策を実施しながら吟詠活動の再開を進めます。皮きりの9月13日の東明碑前祭では、野崎観音慈眼寺において執行部及び元老の先生方と共に宮崎東明先生の法要を営み、改めて「一生初心」をお誓いし関西吟詩の行く末をお守りいただくようお願いしてまいりました。また、午後からの表彰式に続く律詩新譜研修会では

初の試みとして、ZOOMによるリモート研修を実施、会場に来られない多くの会員にも参加を頂きました。

これからのコロナの情勢は混迷が続きます。最終的には計画通りの事業が全て実施できるかどうか予断を許しません。本部としては感染拡大防止に万全の対策を講じますが、会員皆さま一人ひとり「コロナウィルスとの共生」を忘れずこれからの適切な判断行動をお願い致します。

改めて「三密対策の徹底」に加えて「三ない運動」を提唱いたします。

一、行かない（安全でない店・心配な地域を避ける）

二、ウィルスを持ち込まない（マスク・うがい・手指の消毒・検温の徹底・体調不良時は休む）

三、拡げない（三密への協力実行）

を徹底してください。一人ひとりの自覚と協力をお願いいたします。

『明けない夜はない』

現実には先の見えない真つ暗な夜のような状況ですが、「明けない夜はない」「出口の無いトンネルは無い」といいます。「之を好むものは、之を楽しむものにしかず」根っこを大事に、初心を忘れず、マスクの下は笑顔を忘れず、これからも互いに手を携えて協力をしていこうではありませんか。

以上